

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) グループ招へい（中学高校教員）
- (2) 市民青少年指導者招へい
- (3) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい
- (5) 文化交流企画運営補助ボランティア

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流
- (2) 日欧市民交流（助成）
- (3) アジア市民交流（助成）
- (4) 中東市民青少年交流（助成）
- (5) 中東理解ワークショップ等
- (6) アジア理解ワークショップ等

1. 人物交流事業費 (1) グループ招へい (中学高校教員)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 155,404,949円

グループ名	国	人数	期間	事業内容
1 中高教員グループ (第1)	モンゴル	2	04.06.16～ 04.06.30	諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供
	インドネシア	6		
	シンガポール	2		
	フィリピン	6		
	ブルネイ	1		
	マレーシア	6		
	パキスタン	2		
	バングラデシュ	2		
	パプアニューギニア	1		
	フィジー	1		
	カナダ	3		
	スロバキア	1		
	セルビア・モンテネグロ	2		
	チェコ	2		
	ハンガリー	2		
	ポーランド	2		
	マケドニア	1		
	アフガニスタン	1		
	アラブ首長国連邦	1		
	イエメン	1		
	イラン	1		
	オマーン	1		
	サウジアラビア	1		
	カタール	1		
	クウェート	1		
	パレスチナ	1		
	ヨルダン	1		
	レバノン	1		
	トルコ	1		
	バーレーン	1		
	エジプト	1		
	スーダン	1		
	エチオピア	1		
カメルーン	1			
ジブチ	1			
ニジェール	1			



	グループ名	国	人数	期間	事業内容
5	中高教員グループ(第3)	タイ 東ティモール インド スリランカ ネパール ブータン オーストラリア ニュージーランド イタリア 英国 ドイツ フランス エストニア タジキスタン ブルガリア ラトビア リトアニア ルーマニア リビア ケニア 南アフリカ	6 1 4 2 2 1 5 2 5 6 6 6 2 1 1 2 2 2 1 1 1	04.11.10～ 04.11.24	諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる行政官をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供

1. 人物交流事業費 (2)市民青少年指導者招へい

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年の文化交流活動に携わる指導者などを個人またはグループで招へいし、研修・視察・意見交換の機会を提供する。

合計額 30,729,489円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	韓国NGO関係者等グループ	韓国	10	05.02.16～ 05.02.25	韓国で活動するNGO等の指導者を招へいし、日本側の関係団体の視察と指導者間の意見交換を実施
2	インド・ブータンまちづくり専門家グループ	インド ブータン	6 2	04.11.30～ 04.12.14	インド・ブータンにおいて市民参加型のまちづくりや文化の創造的継承に取り組む専門家をグループで招へいし、街並保存や住民参加型の取り組み等文化によるまちづくりの視察と意見交換を実施
3	EUまちづくり専門家グループ	英国 スペイン フィンランド ハンガリー	1 2 1 1	05.03.19～ 05.03.31	EU各国において市民参加型のまちづくりやコミュニティー活性化に取り組む専門家を招へいし、日本側の関係の団体の視察と指導者間の意見交換を実施
4	極東ロシア美術教育関係者グループ	ロシア	9	04.07.29～ 04.08.13	サハリン・ロシア極東地域において市民青少年を対象とした美術教育に取り組む専門家を招へいし、サハリン・ロシア極東地域と日本との市民青少年指導者交流を促進

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費 (3) アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム)

日本とアジア諸国の高校生の相互理解と友好親善を促進するため、アジア諸国の高校生を1年間わが国に招へいすると共に、日本の高校生をアジア諸国に1年間派遣する。

合計額 37,435,440円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	中等教育招へいプログラム	韓国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア	4 4 4 3 4	04.04.01～ 05.03.31	タイ、インドネシア、マレーシア、韓国の4カ国から各国4名、フィリピンから3名、計19名の高校生を、第9期生として招へい
2	中等教育派遣プログラム	韓国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア	2 1 2 2 3	04.04.01～ 05.03.31	タイ、フィリピンに各2名、マレーシアに3名、インドネシアに1名、計8名の日本人高校生を、第8期生として派遣、韓国に2名を、第4期生として派遣。派遣期間は1年、派遣時期は各国の新学期に合わせる

### 1. 人物交流事業費 (4) 開高健記念アジア作家招へい

アジアから作家を招へいし、日本国内で講演会などを開催する。

合計額 7,222,735円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	第14回開高健記念アジア作家招へい	韓国	福岡 大阪 東京 仙台 札幌	福岡アジア美術館あじびホール 大阪国際交流センター小ホール 国際交流基金国際会議場 仙台文化館 北海道立文学館講堂	05.2.15～ 05.3.2	福岡市文化芸術振興財団 大阪国際交流センター 大阪21世紀協会 仙台市市民文化事業団 札幌国際プラザ 北海道立文学館	作家・故開高健の遺族から寄せられた寄付金をもとに、アジア地域の作家を招へいし、講演会を実施。今回は韓国よりキム・ヨンスを招へい

## 市民青少年交流事業費

<b>1. 人物交流事業費</b>	<b>(5)文化交流企画運営補助ボランティア</b>
-------------------	----------------------------

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 1,279,750円

	氏名	国	期間	受入機関	事業内容
1	岩崎優子	ドイツ	05.03.30～ 06.03.29	ベルリン日独センター	音楽会、展覧会等や青少年交流プログラム実施に付随する補助業務

<b>2. 催し等事業費</b>	<b>(1)市民青少年交流</b>
------------------	-------------------

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 2,430,630円

	グループ名	国	都市	期間	事業内容
1	NPO関係者EU派遣	イタリア 英国 スペイン	レッジオ・エミリア ロンドン バルセロナ	05.03.09～ 05.03.18	日本とEUとの市民レベルにおける交流活発化のため、地域レベルにおける国際交流およびその活性化を積極的に推進している人物をヨーロッパ各国に派遣

<b>2. 催し等事業費</b>	<b>(2)日欧市民交流（助成）</b>
------------------	----------------------

日本と欧州（旧ソ連を含む）の市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 16,831,894円

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
1	きょうされん	英国 スウェーデン	ロンドン	10	04.11.21～ 04.12.05	日本における障害者支援体制の今後を模索するため、ヨーロッパ各国において政府、自治体へのヒアリング、障害者支援等で活動しているNGOとの意見交換や、福祉施設等の見学等を実施
			ストックホルム	5		
			ウプサラ	5		
2	国際理解教育情報センター	英国 オランダ ドイツ フランス スロバキア チェコ	ロンドン	4	05.02.13～ 05.02.20	NGOと企業とのパートナーシップによる教育プロジェクトの分野において先進的な活動を行なっているヨーロッパ各国の団体を訪問し、活動状況や課題などに関する意見交換を実施
			アムステルダム	4		
			ケルン	4		
			パリ	4		
			ブラチスラバ	4		
			プラハ	4		

市民青少年交流事業費

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
3	CSOネット ワーク	英国	ロンドン マンチェスター	4 4	05.02.15～ 05.02.24	英国において、NGO・政府関係者等とともに「権利ベースの開発アプローチ」に関するラウンドディスカッションを開催するとともに、同国のNGO団体との情報・意見交換、マンチェスター大学が主催する「権利ベースの開発アプローチ」をテーマとした国際会議に参加
4	東京学生柔道連盟	英国	オックスフォード ケンブリッジ ロンドン	4 4 4	05.03.10～ 05.03.25	オックスフォード大学からの招へいを受け、大学間スポーツ交流の現状や今後についてのディスカッションや親善試合などを実施
5	社会福祉法人 トット基金日本 ろう者劇団	ギリシャ	アルギルポリ	7	04.09.05～ 04.09.14	パラリンピック参加や観戦のために世界各国から集まるろう者、難聴者、健聴者を対象として、日本の文化や視覚演劇を紹介する手話ワークショップを実施し交流を図るほか、手話による狂言公演を実施
6	日独地球市民交流会	ドイツ	ハノーヴァー ベルリン	3 3	04.08.17～ 04.08.26	環境問題への取組において日本より進んでいるドイツに学ぶため、環境教育モデル学校等での授業参加や意見交換、関連施設訪問、研究発表を実施
7	和楽会「昇」	ドイツ	ハーナウ ヴァイルブルク バート・オルプ ロンネブルク	3 3 3 3	04.08.20～ 04.08.31	ドイツ4都市で開催される"Japan Day"において、「日本を身近に」と題した日本を紹介するための事業（邦楽公演、ワークショップ、文化交流会）を実施
8	みかん一座	ドイツ	ヴェルツブルク	5	04.10.14～ 04.10.18	ヴェルツブルグ市誕生1300年を記念し、愛媛県にゆかりのあるシーボルトの娘イネを題材としたミュージカルの上演および地元市民との交流行事を実施
9	特定非営利活動 法人スマイルクラ ブ	ドイツ	ケルン	2	04.11.07～ 04.11.21	千葉を拠点にスポーツ関連事業を行なっているNPO法人「スマイルクラブ」のメンバーがケルンのスポーツクラブ「PESCH」や「MTVケルン1850」などを訪問し、活動状況視察や運営システム、今後の課題等についての意見交換等を実施
10	東京学芸大学音楽・芸術教育研究ゼミナール	ドイツ	ミュンヘン	4	05.02.11～ 05.02.20	日本とドイツの学生が主体となり、ミュンヘン音楽・演劇大学において音楽教育実践に関する共同ワークショップや、日本およびドイツの青少年が抱える課題に対する音楽教育学からのアプローチ等に関するラウンドテーブルを実施

	グループ名	国	都市	人数	期間	事業内容
11	特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター	フィンランド	ヘルシンキ ユヴァスキュラ セイネヨキ	2 2 2	04.09.12～ 04.09.19	アントレプレナーシップ育成教育を国家的に推進しているフィンランドにおいて、行政機関・団体との意見交換や、学校現場での教育手法見学、教員とのセミナー共同参加、ワークショップ等を実施
12	NGOオアシス・ガーナ友の会	アゼルバイジャン セルビア・モンテネグロ チェコ  ブルガリア  ルーマニア	バクー スムガイト ベオグラード ノヴィ・サド プラハ ブルノ フラウコブ ソフィア トライフナ ガプロボ ドレン ブカレスト シスナディエ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	04.05.12～ 04.06.13	東欧各国において、SOSこども村の子ども達や孤児日本の古典手品、西洋マジック、折紙教室などを実施
13	特定非営利活動法人ノマドインターナショナル	グルジア	トビリシ	4	05.02.05～ 05.02.13	トビリシ市内にある教育、擁護施設（児童図書館、チャイルドサポートセンター、大学等）において、児童教育を始めとする教育一般に関する意見交換や、スタッフ、児童との交流を実施
14	ウインドアンサンブル荷揚	チェコ	プラハ ベネショフ	5 5	04.08.28～ 04.09.05	大分県の子ども達で構成されるプラスバンドがプラハを訪問し、地元の市民や子ども達を対象とする演奏会、小学校を訪問してお互いの国の歴史・文化を紹介する交流行事を実施
15	日本スロバキア協会	スロバキア ポーランド	プレショフ バルデヨフ ノビソンチ	4 4 4	05.03.05～ 05.03.14	スロバキアおよびポーランドにおいて、日本の蕎麦料理法に関するプレゼンテーション・実演や、スロバキア、ポーランド両国における蕎麦料理法の実習、蕎麦を用いた村おこしに関する講演・意見交換等を実施
16	特定非営利活動法人地域国際活動研究センター	ハンガリー	ノビソンチ	4 4	04.07.02～ 04.07.12	町づくりの参考とするため、ウエストハンガリー大学の研究者や学生と「文化財保存の視点と町づくり」、「観光化と町づくり」といったテーマでの対話を実施
17	日欧ライフネットワーク協会	ハンガリー	ブダペスト	3	04.11.20～ 04.11.28	子ども達による歌・ダンス公演をハンガリー国立盲学校ホールや劇場等で行なう他、日本の昔話の朗読会、折紙教室、パラリンピック選手との交流会（公演、ダンス指導等）を実施

## 市民青少年交流事業費

### 2. 催し等事業費 (3) アジア市民交流 (助成)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 21,969,928円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL2005	OVAL実行委員会	韓国 中国	04.04.01～ 05.03.31	日本・中国・韓国から参加する学生30名が、3人のチームを作り、ケースメソッドに沿ってビジネスプランを作成し、その優劣を競った
2	東北アジアの平和の確立と南北・日朝関係の克服をめざす日韓交流共同プロジェクト	在日コリアン青年連合	韓国	04.07.01～ 05.03.31	日本と韓国で、朝鮮半島の平和を軸とする、東北アジアの平和のための活動を行なってきた両団体が交流と協力を深め、朝鮮半島の平和、東北アジアの平和、日朝関係の克服を主題とする各種取り組みを行なった
3	国際文化青少年会議	財団法人北九州国際交流協会	韓国	04.08.01～ 04.08.06	姉妹都市である韓国仁川広域市、米国ノーフォーク市の青少年と、北九州市の子供たちとが、「地球、こども、未来」というテーマで話し合う、姉妹都市交流および異文化相互理解促進事業を実施
4	日韓青年人権ワークキャンプ	国際交流青年実行委員会	韓国	04.08.01～ 05.02.28	人権をテーマにしたワークキャンプ 夏に韓国から日本語教育科学生、社会学科学生を招き、ホームステイ受け入れを行ない、ボランティア体験や現地学習プログラムを提供 冬に韓国を訪問し、人権ワークショップを通じて日韓両国の人権問題や日韓関係について議論
5	第20回韓国大学生訪日団受入、第17回日本大学生訪韓団派遣	社団法人日韓経済協会	韓国	04.08.04～ 04.08.23	日本と韓国の大学生が、夏休みを利用して相互に訪問し、産業施設見学、交流会、ホームステイを実施
6	Youth Workcamp In 石川	特定非営利活動法人グローバルユース・ラボ	韓国	04.08.07～ 04.08.20	日本と韓国の10代の若者が2週間共に暮らし、ボランティア活動の体験や地域住民・環境とのふれあいを通して、社会性・協調性・生きる力を養い、さらにワークキャンプを通してその地域を知り、地元の方々と協力して地域を活性化させることを目的とする事業
7	東アジア共同ワークショップ	東アジア共同ワークショップ	韓国	04.08.08～ 04.08.12	国内ならびに韓国から青年を招いて、フィールドワーク、学習会、文化交流等を実施
8	第19回日韓学生会議東京大会	第19回日韓学生会議東京大会実行委員会	韓国	04.08.11～ 04.08.26	42名の日韓の大学生が6分科会に分かれて学術討論を実施。また、会議の成果を一般に広く発表するシンポジウム、自然を通して日本の歴史や文化に親しむフィールドトリップ、日本の文化を実際の体験を通して学ぶ文化体験、駐日韓国大使館訪問などの様々なプログラムを実施して、日韓両国の学生の交流を深めた

	事業名	団体	国	期間	事業内容
9	第2回 BESETOHA合 唱祭	東京大学音楽部 コールアカデ ミー	韓国 中国 ベトナム	04.10.08～ 04.10.11	東京大学、ソウル大学、北京大学、ハノイ大学の 学生合唱団が東京に集まり、合同で公開演奏会を 開催
10	日韓青年NGO ワークショップ -日韓にまたが る多文化共生社 会づくり-	<日本-在日- 韓国>ユース フォーラム・ ジャパン	韓国	04.10.08～ 04.10.12	多文化共生社会をテーマとし、平和・人権を志向 する日本と韓国のNPO・NGOが集まり、各社会の 特徴や今後の課題に関する情報や認識をワーク ショップ形式で交換し双方が実践につながる新し い材料を獲得することを目指した。定住外国人と しての在日コリアン社会の経験が両者をつなぐ媒 介役として発揮されることを期待
11	東アジアにおけ るオルタナティ ブ教育の可能性	特定非営利活動 法人さっぽろ自 由学校「遊」	韓国 中国	04.10.01～ 05.03.31	台湾、香港、韓国のNGOから講師を招き、オルタ ナティブな教育についての一般向国際シンポジウ ムを札幌、小樽、旭川で開催
12	国際ワークキャ ンプ・アジア協 力2004	特定非営利活動 法人NICE（日 本国際ワーク キャンプセン ター）	韓国 インドネシア ネパール インド アジア地域区 分困難	04.10.21～ 04.11.03	国際会議を含めたワークキャンプを実施。フォー ラムではアジアの環境・福祉・教育などの社会状 況を、一般市民やNGO関係者、留学生と都内で話 し合い、企画会議ではアジアのNGO同士の、今後 の協力や共通事業を話し合った
13	日韓若者文化交 流事業	財団法人福岡県 国際交流セン ター	韓国	04.11.01～ 05.03.31	日本と韓国（釜山）のアマチュア音楽バンドの派 遣と受入を行ない、福岡および釜山での共演ライ ブを開催 相互理解促進のため、併せてアジア若 者文化に関する展示を実施。また、一連のイベント については、ラジオやインターネット等を通じて 情報を発信
14	第34回日韓学生 会議	日本国際学生協 会	韓国	04.12.22～ 04.12.28	日韓両学生の混合グループでのディスカッション を5回実施 「今、私たちに求められていること～ 過去を見つめ、未来を切り開く～」を総合テーマ とし、深い知識の交換、日韓双方向の真の理解を 目的とした。また、自国の食文化も紹介し実際に 両国の家庭料理を調理・試食後、食について話し 合うフィールドワークや日本武術の体験も実施
15	川口コリアン ウィークin樹 モール	川口コリアン ウィークin樹 モール実行委員 会	韓国	05.01.03～ 05.01.11	第8回「日韓ユーモア漫画家年賀はがき展」の招へ いを中心に、日韓の新年の行事紹介・食文化の比 較・スポーツ交流などを通して、地域性を踏まえた 日韓の相互理解を深める事業
16	日中留学交流シ ンポジウム	特定非営利活動 法人JAFSA（国 際教育交流協議 会）	中国	03.12.01～ 04.11.30	日本の高等教育機関およびその教職員を主要メン バーとするJAFSA（国際教育交流協議会）と中国 の高等教育機関およびその教職員をメンバーとす るCAFSA（中国高等学校外国学生教育管理学会） との共催による留学生の相互交流全般に関するシ ンポジウムの開催

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
17	介護・日中市民交流 IN上海	特定非営利活動法人アジアロード	中国	04.09.19～ 04.09.23	高齢化が進行している中国で、今後わが国がどのような協力ができるかを知るため、上海で介護セミナーを開催するとともに、中国の高齢者問題の研究者とわが国の高齢者問題の専門家とのシンポジウムを実施 老人ホームのスタッフ等とも意見交換し両国の交流を深めた
18	日中青少年交流体感プログラム	特定非営利活動法人みえ青少年ボランティアネットワーク	中国	04.10.28～ 04.11.13	中国広西民族師範学院中等部歌手班学生らを招いてコンサートを開催 ワークショップ、日中両国の異文化体験、中国の少数民族の子どもたちの絵画展などを組み合わせながら、貧しい村の子どもたちへの理解と応援プログラムに発展させることを目的とした
19	中国山西の美術工芸団来日公演 -ワクワク影絵芝居+コロコロひょうたん工芸+チョコチョコキ剪紙と遊ぼう!	人形劇サポートシステム シアターズーイ	中国	05.03.13～ 05.03.21	中国山西省の影絵芸術家の劇団を招き、公演を実施 また、同地方の民間美術工芸作家を加え、作品と活動を紹介する展覧会および山西の伝統文化の多様な側面や作品制作を体験するワークショップも開催
20	エセレル (EHLEL) 学校と中心としたモンゴル国ウランバートルとの多様な文化交流のきっかけづくり	特定非営利活動法人プロ・ワークス十和田	モンゴル	04.12.24～ 05.03.31	ウランバートル市内の学校などで地域の文化や当団体のNGO活動についての講演と、参加者との意見交換を実施 また帰国後、地域の公民館・集会場などで幅広い世代を対象として交流内容を紹介し、モンゴルについての理解を深め、多様な交流の契機とした
21	カンボジア地域づくり推進プロジェクト	鯖江市国際交流協会	カンボジア	05.01.23～ 05.01.28	教育を受ける機会を得られなかった人たちのための社会教育の機会づくりおよび地域の人々が集まり、問題解決を図る場を形成することを目的に、日本の公民館活動（社会教育）の要素を取り入れた地域コミュニティーづくりを展開するための事前現地調査実施
22	2004年度インドネシア・湘南若者交流事業	インドネシア・湘南若者交流事業実行委員会	インドネシア	04.10.22～ 04.12.31	インドネシアの国立大学日本語学科の中から選考された男女各1名（計2名）を1カ月湘南に招き、地域で交流を実施 滞在中湘南地域の小中学校で交流授業を実施する他、湘南地域の青年の企画で合宿やキャンプも実施
23	アジアからの青年・学生招聘交流プログラム	特定非営利活動法人アジアみらいネットワーク	カンボジア タイ	05.03.05～ 05.03.21	タイ・カンボジアから日本語等を学ぶ学生・青年を日本に招へいし、市民との交流会や中学校での国際理解教育講座を開催。大学見学・最先端企業訪問の他、街づくり学習や環境学習を行なった。市民間からアジア友好の醸成・若者の親日家を育成し、帰国後、各国のリーダーを育てることで、知的貢献を果たすことが目的

	事業名	団体	国	期間	事業内容
24	市民によるアジア遺産都市交流を目指して－タイ・チェンマイの歴史的町並み保存支援－	社団法人奈良まちづくりセンター	タイ	04.04.01～ 05.03.31	チェンマイにおいて地域の歴史的遺産を活かしたまちづくりの実践や研究に取り組むチェンマイの都市開発研究財団と、申請団体が、「チェンマイ市民ワークショップ」と「奈良国際シンポジウム」をそれぞれの都市で開催し、日本側のノウハウを提供することによって、チェンマイの住民参加・住民主体による町並み保存活動に対し支援を実施
25	日タイ視覚障害者文化交流プロジェクト	アジアマインド	タイ	04.04.01～ 05.03.31	日本とタイのろう学校生徒の交流プロジェクト タイでは、ボランティア活動で日本で集めた補聴器をろう学校へ寄贈、生徒同士が生活を共にしながらタイの伝統文化分野の授業に参加し、日本文化の紹介も実施 また、日本では、日本文化に関する分野の授業に参加してもらうとともに、両国交流・手話文化・今後の交流をテーマに討論会を実施
26	インターウィービング・カルチャーズ・プロジェクト：文化を織り成す	ICPオフィス	タイ 英国 フランス	04.04.01～ 05.09.30	日本、タイ、ヨーロッパの現代アート関係者が、ジム・トンプソン博物館で現代アートを通して各地域間の新しい文化的ネットワーク構築を模索、実践 地元の学生や市民を対象としたレクチャーやワークショップも開催
27	日本・タイ青少年交流および青少年国際会議の開催	特定非営利活動法人国際交流会とよなか	タイ	04.07.01～ 05.03.31	タイ・日本の青少年交流の実施および両国での青少年会議の開催
28	アジアの実践者に学ぶ 国際協力NGOのための「子ども参加」ファシリテーター養成ワークショップ	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)	フィリピン	04.08.01～ 05.03.31	アジアで「子ども参加」を実践しているNGOのリーダーを講師に招き、日本のNGOスタッフを対象とした「ファシリテーター養成ワークショップ」を1泊2日の合宿で実施。同時に、国内のNGOの事例紹介や同ネットワークが昨年作成した「国際協力NGOのための『子ども参加実践ガイドライン』」の内容の共有を図るもの
29	「フィリピン教育演劇協会(PETA)」と福岡の子ども達との演劇交流事業(演劇ワークショップおよび公演)	財団法人福岡市文化芸術振興財団	フィリピン	04.09.12～ 04.09.28	演劇ワークショップなどの教育普及活動で36年の実績を有する「フィリピン教育演劇協会(PETA)」を福岡に招へいし、学校カリキュラムとして子どもを対象にした演劇ワークショップや公演鑑賞事業を実施。あわせて一般向けの各種ワークショップや公演を開催し、演劇を通じた福岡市民とフィリピン人文化活動者との国際交流事業とするもの
30	地域活性化に寄与する女性の市民活動紹介	企業組合味工房 エルニジュウゴ	ベトナム	04.05.13～ 04.05.20	日本とベトナム両国の食生活と女性の生き方の事例を紹介して、ヴェトナム女性が家庭と仕事の両立を図りながら社会参加できる方法を考える選択肢を広げること、地域に根ざす伝統食が地域住民の心と体を守ることを伝えることなどを目的とするシンポジウムを開催

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
31	日本、ベトナム2カ国視覚障害者サッカー大会実施事業	ベトナム視覚障害児の夢と未来を支える会	ベトナム	04.08.01～ 04.09.30	ベトナムホーチミン市内においてブラインドサッカー（視覚障害者サッカー）を通して日本、ベトナム2カ国の視覚障害児および関係者間の交流を実施
32	「日越子ども・青年交流－夢と生きがい、愛とロマンを求めて」プロジェクト	ベトナムの「子どもの家」を支える会	ベトナム	04.11.02～ 04.11.21	ベトナム人青年1名を日本に招へいし、北海道、茨城、東京、静岡、京都で集会を行ない、日越子ども・青年の文化交流や日本の若者と「文化・生き方、平和、ボランティア」などの意見交流を実施
33	不登校・引きこもり青年による日越青年交流スタディーツアー	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク	ベトナム	05.03.18～ 05.03.27	不登校経験の青年たちが現在行なっている、ベトナムフエ市の元ストリートチルドレンの青年たちとの、Eメールでの交流を基盤に、同世代の日本の青年の参加者も募集し、フエ市へのスタディーツアーを実施
34	日本ミャンマー交流写真展 - シュエダゴンパゴダ-	NPOミャンマー総合研究所	ミャンマー	04.11.03～ 04.11.12	日本とミャンマーの写真を展示し、ミャンマーの人々にミャンマーの美しさを再認識してもらうとともに、日本の風景や暮らし等を写真を通じて紹介し、相互の交流・理解を深めるもの
35	ラオス スタディー ツアー 事業	財団法人熊本市国際交流振興事業団	ラオス	04.12.01～ 05.03.31	日本のNGOやODAのラオスでの活動を視察、体験・意見交換により地域からできる『市民参加型』の国際交流・協力を考え、人材育成や日本とアジア諸国のネットワークの構築につなげるもの
36	ヒマラヤ音楽舞踊交流事業	ヒマラヤ音楽舞踊実行委員会	ネパール	04.04.01～ 05.03.31	音楽・舞踊を通して多様なネパール文化を紹介する音楽・舞踊公演、ネパールより招へいするメンバーより伝統楽器・舞踊の由来等直接指導を受け、実体験をする交流を行なう音楽・舞踊ワークショップ、ビデオ・講演を通してネパールの国の概要や両国関係の理解を深めるシンポジウム・セミナーを行なう他、障害者施設でも交流・公演を実施
37	バングラデシュ、ネパール、日本3カ国合同わくわく写真交流プロジェクト	特定非営利活動法人シャブラニール＝市民による海外協力の会	ネパール バングラデシュ	04.12.01～ 05.03.31	日本、バングラデシュ、ネパールの同世代の子どもたちが、互いに自分の生活を紹介することを目的に各々の生活をカメラで自由に撮影 それらの写真をもとに、3カ国で写真展を開催し、各国の生活、環境、文化を知り、学ぶ機会とする事業 申請団体のウェブサイトにも掲載
38	アジア欧州芸術創造キャンプ	特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ	アジア地域区分困難	04.04.01～ 04.11.30	ヨーロッパとアジアの優秀な若手芸術家や美術学生、国際的に活躍する美術専門家等を日本に招き、集中講義やワークショップ、ディスカッションのほか、美術館やギャラリー、文化施設のリサーチと訪問、キュレーターや芸術家、美術評論家等との交流を図るもの

市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
39	CISVアジア太平洋地域ワークショップ・ジュニア会議	CISV日本協会	アジア地域区分困難	04.04.08～ 04.04.14	異文化理解と平和教育を目的としたCISV（国際子供村）のアジア太平洋地域の会員を中心に、①11歳から25歳までのジュニア会議、②子供達のキャンプを実施するための指導者養成研修、③新しい会員や会員外の国へのプロモーションのための研修を実施
40	IDEC世界フリースクール大会参加交流事業	特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク	アジア地域区分困難	04.05.01～ 05.03.31	インド・オリッサ州にて開催される「IDEC世界フリースクール大会」へ参加し、意見交換、共同発表を実施。大会後は、参加報告集を作成
41	アジア強化週間	国際学生交流団体ASIA*n（アジア）	アジア地域区分困難	04.12.05～ 04.12.19	学生会議事業は東アジア・中央アジア・西アジア・東南アジア・南アジアの留学生および招へい青年とオリエンタリズムやアジア・アイデンティティーについて学術的な観点から議論を重ねるもの。一般公開事業では、五感で感じるアジアという参加型イベントを実施
42	チャイルドヘルプライン・インターナショナルアジア・パシフィック大会	チャイルドライン支援センター	アジア地域区分困難	05.01.18～ 05.01.22	アジア・太平洋地域の「子どもの電話」事業関係者による国際会議及びワークショップの開催。子どもたちの現状に関する情報交換、担当者の技術向上、設置を準備している国への支援、他地域とのネットワーク構築が目的

2. 催し等事業費 (4)中東市民青少年交流（助成）

日本と中東の市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 10,919,866円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	第2回日本イスラエルパレスチナ学生会議	日本イスラエルパレスチナ学生会議	イスラエル、パレスチナ	04.08.01～ 04.09.30	イスラエル、パレスチナ地域から大学生6名ずつを日本に招へいし、討論会等を実施
2	ピース・キッズ・サッカー2004	ピースキッズサッカー	イスラエル、パレスチナ	04.08.18～ 04.08.28	イスラエルとパレスチナの子供たちを日本に招へいし、東京と仙台で日本の子供と文化の違いを越えた相互理解を図るための合宿を実施
3	ワールドスクールネットワーク子ども環境ワークショップ	エコプラス	イスラエル、パレスチナ	05.02.08～ 05.02.17	イスラエル、パレスチナの中学生を招聘し、各地域での環境保全活動を発表するワークショップ、有機農法体験、清掃工場見学などを実施
4	児童文化部の活動を通してのオマーンとの国際文化交流	藤村女子中学・高等学校児童文化部	オマーン	05.01.02～ 05.01.09	高校生がオマーンで学校・病院等を訪問し、ハンドベル、人形劇などを披露して慰問活動を紹介

## 市民青少年交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
5	日本・アラブ学生相互訪問プログラム	慶応義塾大学 SFC奥田敦研究会	シリア、チュニジア	04.12.01～ 05.03.13	シリア、エジプト、レバノン、チュニジアからの学生を招へいし、語学学習ビデオ等を作成
6	第11回日本・トルコ学生会議国際大会	日本トルコ学生会議	トルコ	04.09.10～ 04.09.24	日本の大学生がトルコを訪問し、「学校教育の現状」、「倫理観」等のテーマで討論会を実施
7	世界の若者による対話－RING2005	RING	中東地域区分 困難	05.03.07～ 05.03.16	イスラエル、パレスチナ、イラク等から学生らを招へいし、パネルディスカッション、交流合宿等で、貧困、テロ、戦争等について討論を実施

### 2. 催し等事業費 (5) 中東理解ワークショップ等

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、講演会、展示会やワークショップまたは連続講座を、在日あるいは滞在中の中等知識人や日本の中等専門家などを講師に開催する。

合計額 17,136,864円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	アフガニスタン絵画・工芸展	アフガニスタン	松本市 大阪市	松本中央公民館 大阪国際交流センター	04.07.11～ 04.09.17	シャマーレ・アフガニスタン 大阪国際交流センター	アフガニスタンの文化に触れる機会を提供するため、平成15年度「アフガニスタン、明日へつなぐアーティストたち」展で展示した絵画工芸作品の巡回展を実施
2	イラク事情に関する講演会	イラク	岩手県 埼玉県 札幌市 山形県	自衛隊岩手駐屯地 自衛隊朝霞駐屯地 自衛隊真駒内駐屯地 自衛隊神町駐屯地	04.04.01～ 04.07.10		イラクにおける自衛隊の人道復興支援活動の効果的かつ円滑な遂行を目的として、派遣隊員を対象としたイラクの宗教・文化・注意事項等に関する講演会を実施
3	中東・イスラーム理解セミナー(広島)	シリア	広島市	ひろしま国際センター	05.02.06	外務省 広島県 ひろしま国際センター	日本国内の中東理解促進のため、在京シリア大使および中東地域研究者による講演会を開催
4	東と西一過去と現在の狭間で オルハン・パムク講演会	トルコ	東京都	国際交流基金 国際会議場	04.11.22	藤原書店	トルコの作家オルハン・パムク氏による講演会を実施

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
5	中東・イスラーム理解セミナー(岡山)	エジプト	岡山市	岡山国際交流センター	04.05.28	外務省 岡山県	日本国内の中東理解促進のため、在京エジプト大使館参事官および中東地域研究者による講演会を実施
6	中東・イスラーム理解セミナー(札幌)	エジプト	札幌市	札幌グランドホテル	04.11.29	外務省 札幌市 札幌国際プラザ	日本国内の中東理解促進のため、在京エジプト大使および中東地域研究者による講演会を開催
7	中東・イスラーム理解セミナー(山形)	スーダン	山形市	山形保健センター	04.07.25	外務省 山形県	日本国内の中東理解促進のため、在京スーダン大使および中東地域研究者による講演会を開催
8	中東・イスラーム理解セミナー(大阪)	チュニジア	大阪市	大阪国際交流センター	04.09.27	外務省 大阪府 大阪国際交流センター 大阪府国際交流財団	日本国内の中東理解促進のため、在京チュニジア大使および中東地域研究者による講演会を開催
9	中東理解講座	中東地域区分困難	東京都	国際交流基金 国際会議場 国際交流基金赤坂ツインタワーセミナー ルーム 国際文化会館講堂	04.06.01～ 05.03.31		中東域内の社会・文化事情やその歴史的背景などについてより深い関心と正確な理解を促し、かつ、中東の社会・文化芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向けの講座を実施

## 市民青少年交流事業費

### 2. 催し等事業費 (6) アジア理解ワークショップ等

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、講演会や展示会、ワークショップまたは連続講座を、在日あるいは滞在中のアジア知識人や日本のアジア専門家などを講師に開催する。

合計額 31,570,791円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアINコミック2005	韓国 中国	東京	国際交流基金 フォーラム	05.02.19～ 05.02.20	平成12年度から始めた「アジアINコミック」シリーズの第5回目として、平成16年度は、インターネットの普及が著しい中国および韓国からオンライン漫画配信事業経営者や若手のオンライン人気漫画家を招へいし、日本のオンライン漫画配信事業経営者およびオンライン漫画家に漫画研究者を交え、各国におけるオンライン漫画の配信事業事情やオンライン漫画家が生み出す作品の特徴などを紹介し、その現状と将来について討論した
2	アジア理解講座	アジア地域 区分困難	東京都	国際交流基金国際会議場 国際交流基金赤坂ツインタワー セミナールーム 国際文化会館講堂	04.06.01～ 05.03.31	アジア域内の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、かつ、アジアの社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
3	アジア理解講座出版	アジア地域 区分困難			04.06.01～ 05.03.31	アジア理解講座で行なわれた講義内容を「アジア理解講座シリーズ」(山川出版社)などとして書籍化
4	第7回アジア漫画展	アジア地域 区分困難	ソウル マンダルー ヨン バンコク コンケーン ポーパール ニューデ リー 北京 広州 蘇州 ジャカルタ	ソウル日本文化センター展示場 ザ・ポディウム ショッピング モール バンコク日本文化センターアートスペース コンケーン大学 芸術学部展示室 国立人類博物館 ラリット・カラ 首都図書館 広東美術館 蘇州図書館 ジャカルタ日本文化センター ギャラリー	04.03.31～ 04.04.13 04.06.02～ 04.06.21 04.07.12～ 04.07.23 04.08.04～ 04.08.13 04.09.06～ 04.09.20 04.09.28～ 04.10.05 04.10.21～ 04.11.03 04.12.08～ 04.12.22 04.11.09～ 04.11.29 05.01.10～ 05.01.28	平成14年度に開催した「第7回アジア漫画展—アジアの就職事情」を、16年度は韓国、フィリピン、タイ、インド、中国、インドネシアに巡回した。15年度は国内3カ所およびマレーシア、韓国で開催済

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	第8回アジア漫画展(国内、海外巡回展)	アジア地域 区分困難	藤岡市 知立市 クアラルン プー コタ・キナ バル クアラ・ト レンガヌ	ららん藤岡花の 交流館 知立市中央公民 館 クアラルンプー ル国立図書館 サバ博物館 トレンガヌ国立 博物館	04.06.05～ 05.06.24 04.07.17～ 05.07.25 04.10.07～ 04.10.31 04.11.27～ 04.12.30 04.09.04～ 04.10.02	平成15年度に開催した「第8回アジア漫画展—生きがい」を、平成15年度に引き続き、16年度も国際交流団体や地方自治体などの共催により、国内2カ所(群馬県藤岡市、愛知県知立市)で巡回展を開催した。また、国内巡回展の終了後、マレーシアのトレンガヌ、クアラルンプール、コタ・キナバルの3都市にも巡回した
6	第9回アジア漫画展(国内巡回展)	アジア地域 区分困難	東京 福岡市 つくば市 千曲市 小平市 徳島市 大阪市 さいたま市	国際交流基金 フォーラム レインボープラ ザ 茨城県つくば美 術館 千曲市上山田文 化会館 小平市民文化会 館ルネこだいら 展示室 徳島県立二十一 世紀館 大阪国際交流セ ンターギャラ リー さいたま市立大 宮図書館展示 ホール	04.08.03～ 04.08.21 04.09.01～ 04.09.15 04.11.23～ 04.11.28 04.12.03～ 04.12.10 04.12.17～ 04.12.22 05.01.27～ 05.02.06 05.02.21～ 05.02.27 05.03.08～ 05.03.17	アジア各国の社会、文化、人々の暮らしなどを紹介するため、今回は「アジアのIT事情」をテーマにアジア8カ国(中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ)の第一線で活躍中の漫画家8名に諷刺、ユーモアを交えた1コマ(あるいは数コマ)による作品(計80点)の制作を依頼し、これらの作品を国内7都市に(東京都、つくば市、千曲市、小平市、徳島市、大阪市、さいたま市)巡回した